

【目的】

福井名物の越前おろしそばと福井の地酒や酒の肴を楽しめる店舗を「そば」と「BAR」を合成した「SOBAR（ソバル）」としてブランド化し、駅周辺の店舗で味わっていただくことにより、福井が誇るそばの食文化を新たな視点で発信する。

【戦略および内容】

SOBARのブランド化

認定制度の創設により「SOBAR」をブランド化し、福井が誇るそば文化をまちなかから発信し、県内全域に広める。

○認定制度の創設

- ・SOBARメニューを設定した店舗をSOBAR店舗として認定
- ・SOBAR店舗に認証プレートを配布
- ・統一のロゴを活用したSOBARメニュー表を各店舗で作成

【SOBARメニュー】

そば 福井県産そば粉を使用（一部使用でも可）
 地酒 福井県内の蔵元、メーカーの地酒等を提供
 肴 福井名物のおつまみ・デザート、コラボメニュー等を提供

【SOBARメニューの具体例】

そば おろしそば、あげおろし、天おろし、ざるそば等
 地酒 一本義、梵、黒龍、常山等
 肴 汐雲丹、へしこ、油揚げ、お幸ざい（たくあんの煮たの、麩の辛子和え等）、ソースカツ、そばがき、板わさ、焼鯖寿司、そば豆腐、水ようかん、そばアイス、ガレット等

○SOBAR店舗プロモーション

- ・福井県のそば情報サイト「そばオンライン」、その他観光サイトにSOBAR店舗の情報を掲載
- ・SOBAR店舗の情報を掲載したマップを作成し、宿泊施設等へ配布
- ・食べ歩きスタンプラリー等のSOBAR店舗共同キャンペーンを実施

SOBAR店舗の普及・展開

知見を有するそば関係団体や事業者との連携により、SOBAR店舗の戦略的な普及・展開を図る。

○SOBAR店舗の普及

- ・福井駅を中心に徒歩15分（1km）圏内の飲食店にSOBAR店舗の認定を働きかけ
- ・今年度の認定目標：20店舗

○SOBARシェアキッチン

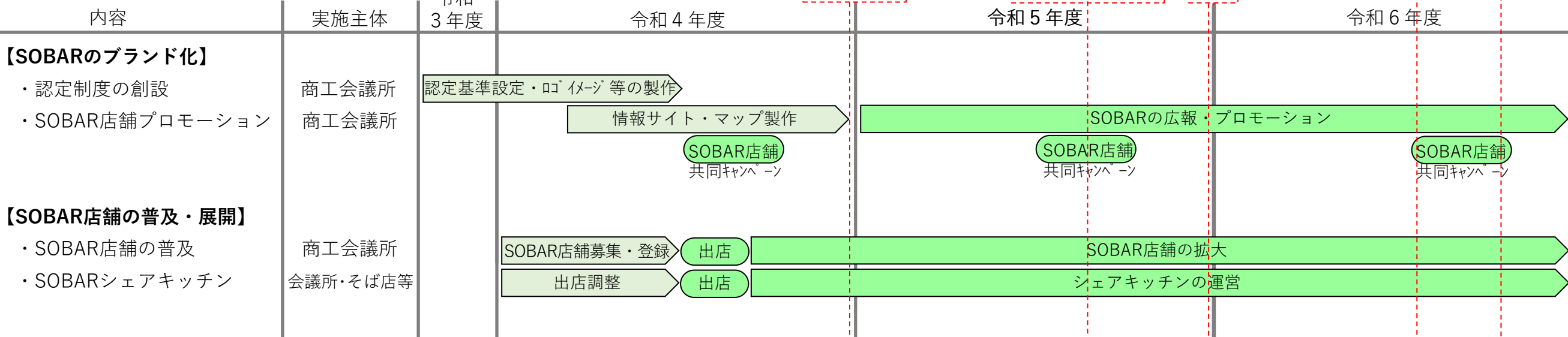
地域のそば名店やそば打ち名人、そば愛好グループが交代でSOBARメニューを提供し、観光客等がそば打ち体験できるシェアキッチンを開設

シェアキッチンの 利用方法	そば名店による出張出店
	素人そば打ち名人、そば愛好グループによる日替わり または週替わり出店
	観光客等のそば打ち体験
店舗（案）	越前蕎麦倶楽部店舗を活用（夜間限定）

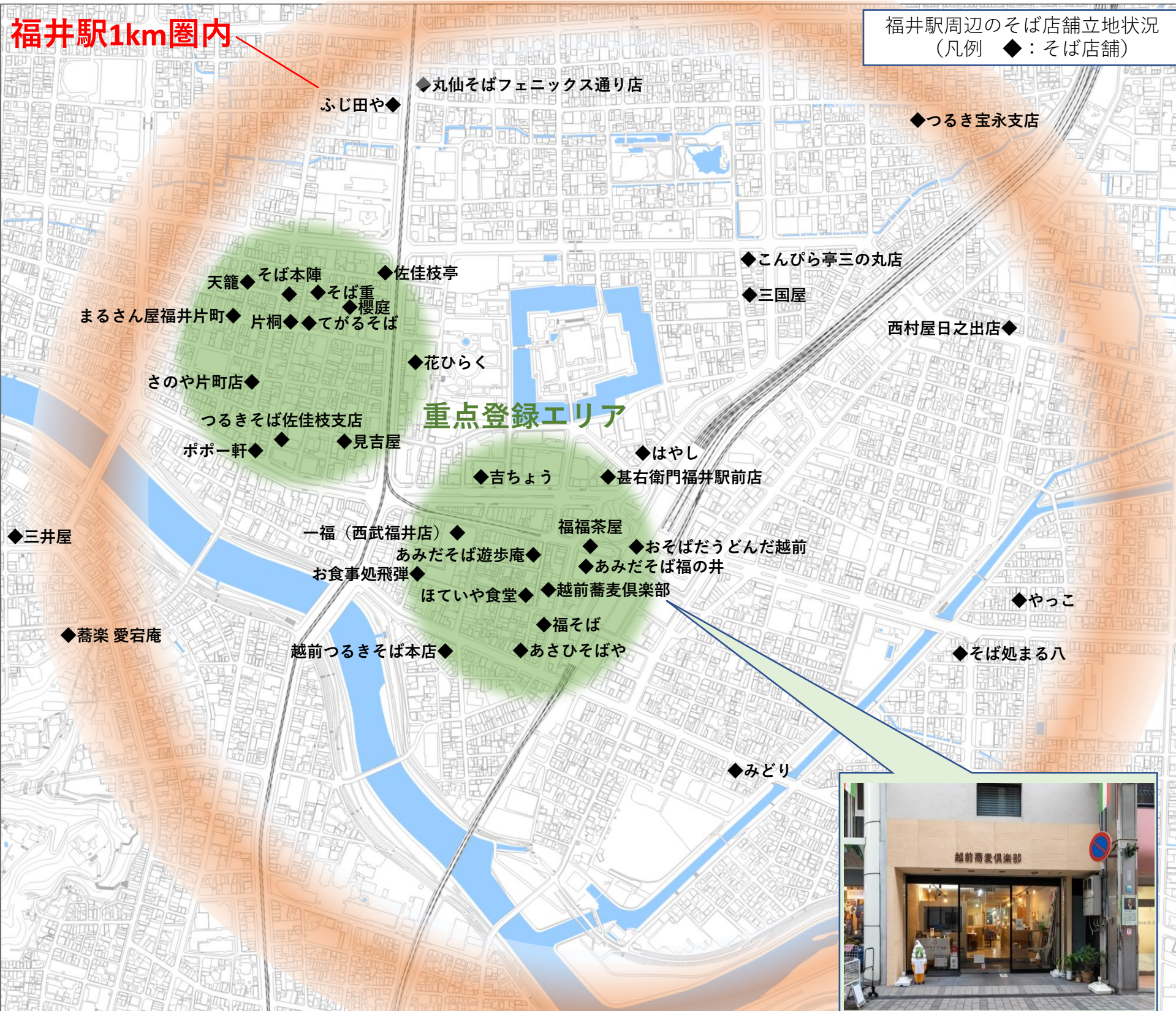
○SOBARコンセプトショップ

SOBARメニューを提供するコンセプトショップ（仮設店舗・ブース）をイベント出店

【実施計画（案）】



越前おろしSOBARプロジェクト 想定エリア



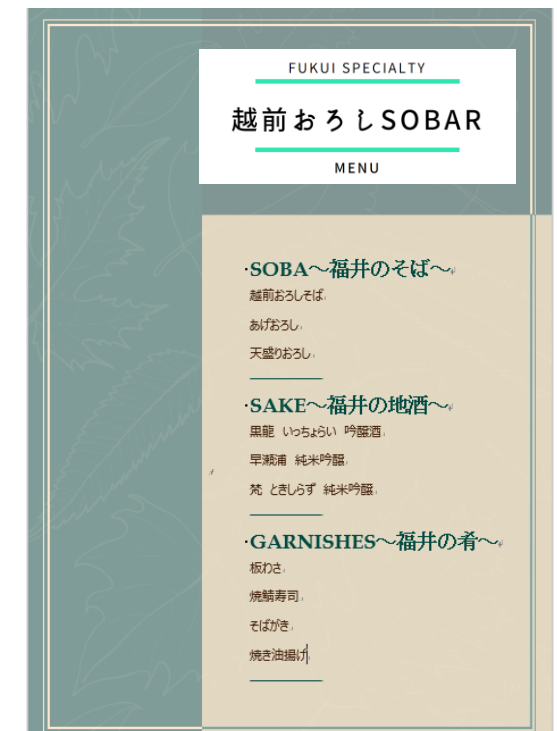
SOBARシェアキッチン店舗 (案)
(越前蕎麦倶楽部)

SOBARメニュー・SOBARロゴ (イメージ)

A店SOBARメニュー表



B店SOBARメニュー表



美と福の歴史見える化プロジェクト

【目的】

福井駅周辺に数多く存在する歴史スポットやパワースポット、福井にゆかりのある歴史人物に光を当て、観光客が楽しめる消費できるコンテンツの造成や環境整備を行うことにより、かつての城下町を中心とする地域の宝に見える化する。

【戦略および内容】

歴史資源の掘り起こし、磨き上げ 歴史資源の掘り起こしやパワースポットの活用により、歴史スポットの魅力向上を図り、周遊環境を整える。
歴史エピソードの脚色・エンタメ化 埋もれている歴史資源をストーリー化し、魅力あるコンテンツに仕立てることで、稼ぐ・儲けるプレイヤーを創出する。

福井城址の磨き上げ・エンタメ化

- 坤櫓・土塀等の復元
県民の気運の高まりをもとに、福井駅から見える坤櫓や土塀等を復元
- 石垣のライトアップ
歴史的価値の高い石垣を知ってもらうため、常設によるライトアップを実施
- 城址周辺の周遊促進
福井駅周辺や中央公園等においても往時の姿を体験できるよう福井城復元VRアプリの機能を拡充
VRアプリ等も活用した解説付きまち歩きの実施
- 山里口御門内の案内映像の充実
福井城に関する映像やクイズ機能、周辺歴史スポットの紹介映像を追加
- 城址への親しみを深めるイベントの開催
お堀での遊覧船運航や、石垣のプロジェクションマッピング等のイベントを開催

北ノ庄城址の磨き上げ・エンタメ化

- 美の聖地化
戦国一の美女お市の方にあやかり、定期的に「美」をテーマとしたイベントを開催し、「美」のスポットとして聖地化
- 美関連商品の開発・プロモーション
デザイナー等専門家を活用し「美」をテーマとした統一のブランドを立ち上げ
「美」に関連した商品・サービスの開発や共同販促・PRを実施
- 北の庄城址資料館の機能強化
歴史ボランティア「語り部」を増員し、来訪者案内を強化
柴田勝家・お市の方の歴史映像や周辺歴史スポットの紹介映像の放映

まちなか歴史スポットの周遊促進

- 城址等への動線の環境整備
歴史スポットをつなぐ看板等の設置や、歴史のみち等の歩道に歴史情報を盛り込んだ案内タイルを設置
- 新モビリティ「ふくとく」を活用した周遊促進
福井駅周辺の歴史スポットや足羽山周辺のパワースポットをめぐる「ふくとく」の定期運行
- 福井駅周辺歴史スポット周遊ツアーの実施
ふくい観光おもてなしガイドがエスコートする観光客向け周遊ツアーを実施
観光事業者を対象におもてなし力向上を図るモニターツアーを実施
- 震災メモリアルスポットの整備
震災遺構（三井住友信託銀行）の説明板等を設置
- 歴史スポットへの周遊促進を図るイベントの開催
愛宕坂の灯の回廊や、養浩館庭園でのお茶席等のイベントを開催
- 歴史スポットの紹介映像放映
山里口御門、北の庄城址資料館に加え、グリフィス記念館において、歴史スポットの紹介映像等を放映

【実施計画（案）】

内容	実施主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				観光素材集約	全国宣伝販売促進会議
坤櫓・土塀等の復元	県		フォーラム開催、文献調査		整備手法の検討・調査設計等
石垣のライトアップ	県		石垣（西側）のライトアップ設計・整備		ライトアップの実施
福井城址周辺の周遊促進	県		まち歩き	VRアプリの機能拡充（まち歩き）	VRアプリの運用（まち歩き）
山里口御門内の案内映像の充実	県		福井城に関する映像等の追加	放映	歴史スポット映像の追加
福井城址のイベント	県・民間	イベント		イベント	イベント・プロジェクションマッピング
北ノ庄城址美の聖地化	商工会議所等		イベント	イベント	北ノ庄城址「美」の聖地化 イベント
美関連商品開発・プロモーション	商工会議所		「美」関連商品・サービス開発		「美」関連商品・サービス販売・プロモーション
北の庄城址資料館の機能強化	福井市			歴史ボランティア「語り部」増員	歴史映像等の放映
城址等への動線の環境整備	県・福井市		動線整備の検討		案内タイルの設置
新モビリティを活用した周遊促進	商工会議所等	実証実験	実証実験		ふくとく定期運行
歴史スポット周遊ツアーの実施	観光協会等			観光客向け周遊ツアー・モニターツアー等	
震災メモリアルスポットの整備	福井市等			説明板等設置の検討	説明板等の設置
歴史スポットへの周遊促進イベント	福井市		愛宕坂灯の回廊（3・4月）、養浩館庭園お茶席（4月・10月）	アート展示（冬期）、グリフィス記念館クリスマスイベント（12月）	
歴史スポットの紹介映像放映	県・福井市等		映像の内容検討	映像の制作	放映

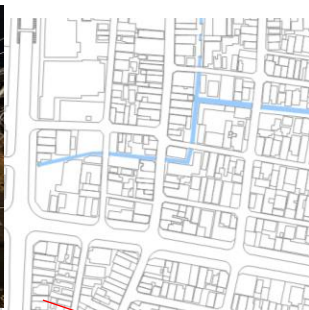
美と福の歴史プロジェクト 全体概要図



坤櫓の復元(イメージ)



福井城址石垣のライトアップ



養浩館庭園
(ライトアップ・お茶席・アート展示等)



福井市
郷土歴史博物館 ◆ 養浩館庭園



ふくとックを活用した
駅周辺歴史スポットの周遊



案内映像の充実



VRを活用したまち歩き



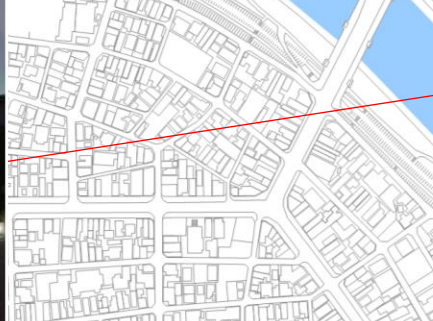
お堀の遊覧船運航



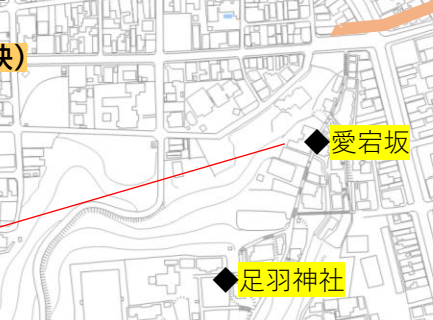
動線の環境整備
(案内タイル設置 ※鎌倉市長谷寺の例)



グリフィス記念館
(クリスマスイベント・紹介映像の放映)



愛宕坂(灯の回廊)



ふくとックを活用した
足羽山周辺パワースポットの周遊
(毛谷黒龍神社・朝日山不動寺等)



震災メモリアルスポットの整備
(三井住友信託銀行)



北の庄城址資料館の機能強化
(語り部の増員・紹介映像の放映)



福井駅周辺歴史スポット
周遊ツアー



北ノ庄城址「美」の
関連商品の開発
(例:地酒フェイスマスク)



北ノ庄城址「美」の聖地化イベント
(例:北ノ庄酒粕足湯)

ウェルカム恐竜増殖プロジェクト

【目的】

- ・福井駅周辺に恐竜をテーマにした様々な仕掛けを行うことにより、訪れた方に「恐竜といえば福井」を強烈に印象づけ、“福井に来た”というワクワク感を醸成する。
- ・多様な恐竜コンテンツを連続して配置することにより、来県者が回遊・憩いにぎわうエリアを創出する。

【戦略および内容】

見て楽しい・体験して楽しい仕掛けづくり

恐竜モニュメントの追加やA Rアプリの製作、恐竜ホテルへの改修などにより、駅周辺を恐竜にあふれたインパクトのある景観と他では味わえない恐竜体験が楽しめる空間にする。

○恐竜モニュメント等の充実

恐竜モニュメントの設置やデジタル技術を活用したコンテンツの整備、恐竜の足跡や影の歩道へのペイントや恐竜博士ベンチ等の設置により、歩いて楽しめる回遊空間を整備

- ・福井駅西口エリア：福井駅西口広場、中央大通りの歩行空間、西武福井店周辺
- ・福井駅東口エリア：福井駅観光交流センター屋上、東口駅前広場、北陸電力福井支店壁、歩行者専用通路等

○恐竜列車の運行（えちぜん鉄道 福井駅～勝山駅）【二次交通プロジェクトと共通】

車両の外装には恐竜ラッピングを施し、内装には恐竜時代にタイムスリップしたかのような雰囲気を出した2両1編成の「恐竜列車」を運行

○恐竜バスの運行（J R福井駅～恐竜博物館）【二次交通プロジェクトと共通】

恐竜ラッピングされたバスで専用アテンダントが恐竜博物館や周辺観光地の解説をし、車内で恐竜A Rが楽しめる「恐竜バス」を運行（土日祝に片道6便運行）

○恐竜ホテルへの改修

駅周辺ホテルの宿泊室・共用スペースを恐竜仕様にリニューアルし、恐竜オブジェ、恐竜デザインアメニティ、ぬいぐるみや絵本などを設置することにより、恐竜気分を演出（現在、リバージュアケボノ12部屋、ホテルフジタ1部屋供用中）

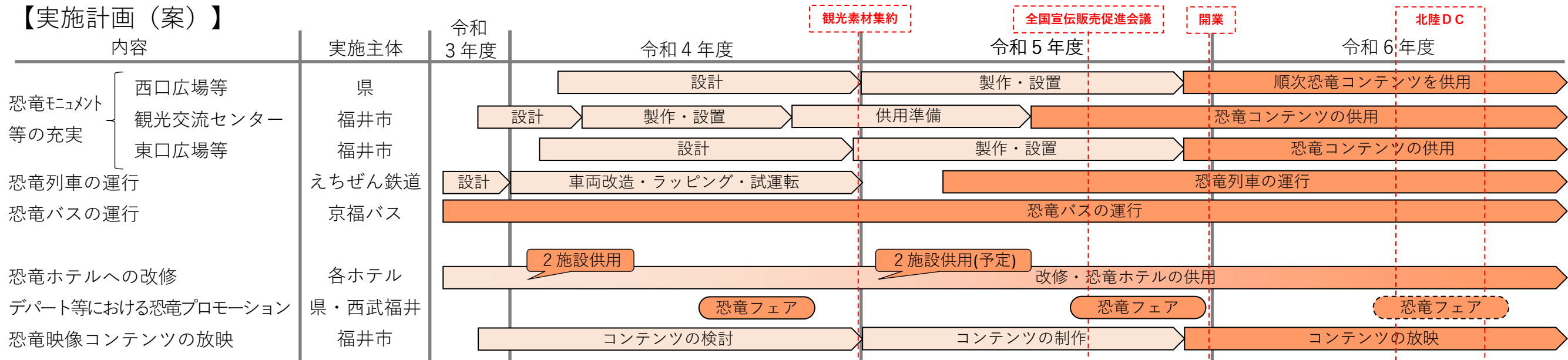
○デパート等における恐竜プロモーションの実施

西武福井店において恐竜を活用した集客イベントを開催（恐竜骨格の展示、恐竜グッズの販売、D I N O - A - L I V Eショー、化石発掘体験など）

○恐竜の映像コンテンツ放映

ハピリン内のプラネタリウム等において恐竜を活用した映像を放映

【実施計画（案）】



ウェルカム恐竜増殖プロジェクト イメージ図

(※ 整備する恐竜コンテンツは案の段階)

凡例：
整備中 整備済
 ・整備中 ・整備済



恐竜足跡・影ペイントの整備
(イメージ)



整備済の恐竜モニュメント・駅舎ラッピング・壁面トリックアート



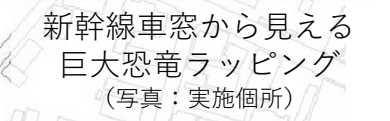
恐竜列車の運行
(写真：改造する車両(静岡鉄道HPより))



恐竜ホテルへの改修
(写真：リノベーションの例)



新幹線車窓から見える
巨大恐竜ラッピング



新幹線車窓から見える
巨大恐竜ラッピング
(写真：実施箇所)



恐竜ベンチの設置



デパート等における
恐竜プロモーション
(写真：西武福井店ダイノデパート)



恐竜の映像コンテンツ放映



恐竜を活用した
ARアプリ等の制作



新幹線車窓から見える
恐竜モニュメントの設置
(観光交流センターの設置イメージ)



恐竜バスの運行

二次交通エンタメ化プロジェクト

【目的】

観光地が点在することを前向きに捉え、福井駅周辺からの移動を楽しめる仕掛けをつくることにより、観光客の満足度を高め、リピーターにつなげる。

【戦略および内容】

乗りたくなる仕掛けづくり

「この乗り物に乗ってみたい」と思わせるような車両を運行する。

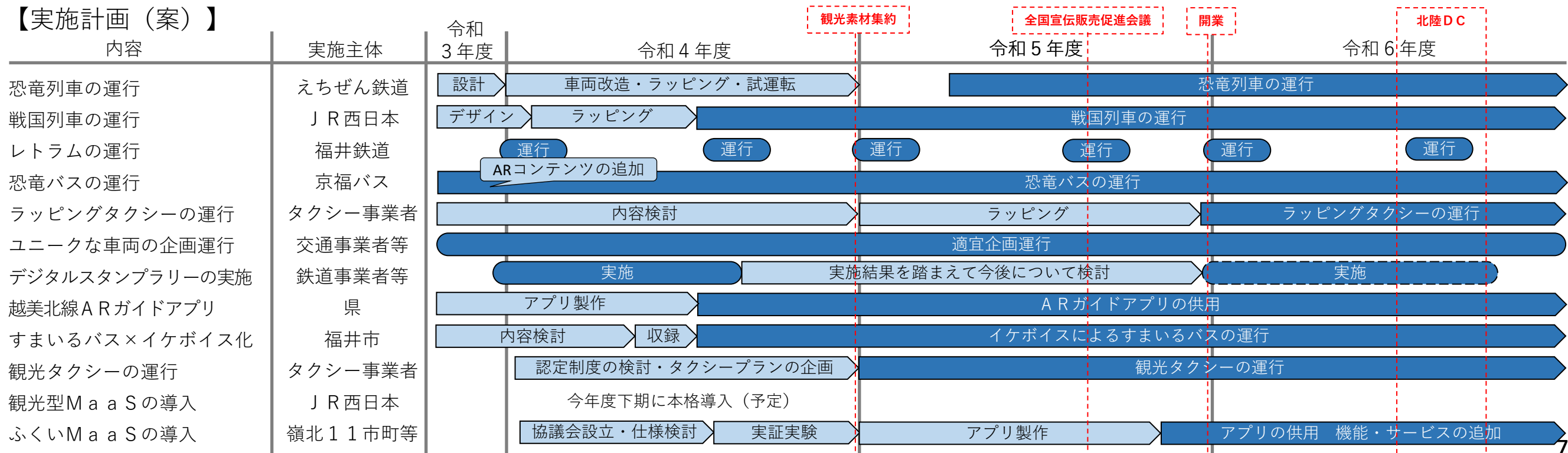
- 恐竜列車の運行（えちぜん鉄道福井駅～勝山駅）【恐竜プロジェクトと共通】
車両の外装には恐竜ラッピングを施し、内装には恐竜時代にタイムスリップしたかのような雰囲気演出した2両1編成の「恐竜列車」を運行
- 戦国列車の運行（JR越美北線）
一乗谷朝倉氏遺跡や越前大野城下町に向かう車両に戦国を想起させるデザインのラッピングを施した「戦国列車」を運行
- レトラムの運行（福井鉄道福井駅～越前武生駅）
ドイツで路面電車として運行していた車両「レトラム」の季節運行とバスを組み合わせた観光ツアー等の企画・実施
- 恐竜バスの運行（福井駅東口～恐竜博物館）【恐竜プロジェクトと共通】
恐竜ラッピングされたバスで専用アテンダントが恐竜博物館や周辺観光地の解説をし、車内で恐竜ARが楽しめる「恐竜バス」を運行（土日祝に片道6便運行）
- ラッピングタクシーの運行（JR福井駅前発着）
福井の観光地や歴史的人物などをラッピングした観光タクシーを運行
- ユニークな車両の企画運行
二階建てオープントップ型のロンドンバスや新モビリティ「ふくトック」、かにのラッピングを施した「越前がにバス」など、普段は乗る機会のないユニークな車両をイベント的に運行

乗って楽しい仕掛けづくり

観光地等への移動中も車内で楽しめるコンテンツを充実させる。

- 鉄道と「駅メモ」がコラボしたデジタルスタンプラリーの実施
福井鉄道とえちぜん鉄道の11駅と各鉄道沿線の観光地9か所において、スマホの位置情報を利用したスタンプラリーを実施し、主要駅においてフィギュアやクリアファイルなどのコラボグッズを販売
- 越美北線ARガイドアプリの導入
武将キャラクター等が登場するARや、地元有名人等のメッセージ動画など、一乗谷朝倉氏遺跡へ向かう乗客が駅や車内で楽しめるスマホアプリを導入
- すまいるバス×イケボイス化プロジェクト
福井市内を周遊するすまいるバスにおいて、人気声優による車内放送（録音）を実施
- 観光タクシーの運行
多彩な観光タクシープランの企画・実施
- 観光型Maasの導入
新幹線をはじめとする鉄道に加え、現地でのバスなどの交通機関や観光地の入場チケットを含め、出発地から目的地までの全行程について、スマートフォンでシームレスに検索・予約・決済ができる観光型Maasを導入
- ふくいMaasの導入
複数の公共交通やそれ以外のサービスを最適に組み合わせて検索や決済等を一括で行うことができるスマホアプリを導入

【実施計画（案）】



二次交通エンタメ化プロジェクト 全体概要図



ふくトック

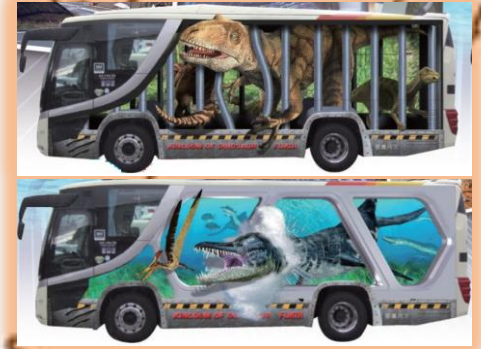


三成タクシー（長浜市等）



恐竜列車の運行

（写真：改造する車両（静岡鉄道HPより））



恐竜バスの運行



ロンドンバス



越前がにバス

ユニークな車両の企画運行



レトラムの運行



戦国列車の運行

（写真：ラッピングする車両）



ARガイドアプリの導入



すまいるバス×イケボイス化

福井駅

恐竜博物館

一乗谷朝倉氏遺跡



観光型MaaSの導入

（写真：瀬戸内エリアのMaaS「setowa」（JR西日本HPより））



ふくいMaaSの導入



デジタルスタンプラリーの実施



観光商品企画（関連グッズ販売）

（写真：福井鉄道HPより）